

登録コード	T5000110	開講年度	2026				
授業科目	建築ゼミナール					担当教員	松田 昌洋
英文授業名	Architecture Seminar					副担当	梅干野 成央・寺内 美紀子・佐倉 弘祐・高村 秀紀・諏訪田 晴彦
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生	建築学科1年生
講義室	共通教育65講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標		【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			⇔	【授業の達成目標】	
		2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
		【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。			⇔	建築学の概要を説明することができる。	
		【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			⇔	建築学に関する情報を収集することができる。	
		【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			⇔	建築学に対する関心とそれに対する理解を深めるための手段を身につけている。	
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営、芸術文化、環境共生、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		建築学の各専門分野（歴史計画・意匠設計・構造材料・環境設備）を学ぶ上で欠かせない知見や問題などを解説し、それぞれの内容について理解を深めます。なお、多くの教員が担当します。学生生活で困ったことや不安なこと、将来の進路希望などについて、随時相談を受け付けます。講義の前後に、気軽に声をかけてください。					
(5)授業計画		以下の内容を予定しています。詳細はガイダンスにて周知します。 第1-2週 ガイダンスなど 第3週 製図基礎（製図道具の使い方など）、直線、曲線、図面の種類、製図記号 第4週 建築概論（意匠設計）、レタリング 第5週 建築概論（歴史・計画）、平面図形、立体図形 第6週 建築概論（環境・設備）、展開図、多面体の模型製作 第7週 建築概論（構造・防災）、立体図形とその陰影 第8週 投影図（授業アンケートへの回答を含む）					
(6)成績評価の方法		各回の課題を主な評価対象とする。課題点60％と出席点40％を合算して評価する。					
(7)成績評価の基準		提出物の内容が要件を満たしていると判断されれば、達成目標の水準にある（可）、達成目標の水準よりやや上にある（良）、要件を満たした上で自らの工夫が認められる（優）、その工夫が教員を感心させられる（秀）					
(8)事前事後学習の内容		講義後に教科書を用いて、予習・復習すべき箇所を案内する。また、具体的な課題を課す場合もある。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意		積極的に学ぶ態度が求められます。普段から関心をもって、関連図書を読んだり、建物を見学したりしてください。特に、講義時に紹介された図書は必ず読み、建物についても足を運んで実際に空間を体験するようにしましょう。					
(10)質問,相談への対応		講義時間の前後に受け付ける。また、メールでも受け付ける。 令和8年度1年生担任（松田）：mat@shinshu-u.ac.jp					
(11)その他							
【教科書】		櫻井良明：改訂版 建築製図 基本の基本、学芸出版社、2023 3520円					
【参考書】		講義にて紹介します。					